

(一社)防府薬剤師会だより

清流

第117号

2014.1.1



防府天満宮表参道(撮影：木村紘明)

目次

新年のごあいさつ(防府薬剤師会会長 福田 淳子)	1
気ままトーク (山口県立総合医療センター 礒部 邦彌)	2
服薬指導の実例 (済生堂中央薬局 野口 朝絵)	3
慶祝	3
職場紹介 (いちのみや薬局防府店 荒瀬 峰春)	4
こんにちは	5
会員の動き	5
生涯教育	6
定例理事会報告	7
「遺伝子の時代を生きる -遺伝子診断から予防医療へ-」 (佐波薬局 牧野泰孝)	11
山口健康福祉センターからのお知らせ	12
防府薬剤師会ゴルフコンペ報告 (山口県立総合医療センター 三好 生典)	13
防府三師会ゴルフコンペ報告 (防府栄町薬局 椎木 康之)	13
防府健康フォーラム2013 (生涯教育委員会 三堀 史郎)	14
((財)防府消化器病センター 防府胃腸病院 宮木 亜由美)	15
新年会のお知らせ	16
編集後記	16

－ 新年のごあいさつ －

(一社)防府薬剤師会 会長 福田 淳子

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。昨年4月には、社団法人から一般社団法人防府薬剤師会として新たに生まれ変わりスタートいたしました。年頭にあたり、新たに走り出した会の流れを振り返ってみたいと思います。

公益事業の一つとして、春には地域住民の方々の参加による薬草園見学バス旅行を行いました。在宅医療への取り組みの強化を目的に、在宅推進チームから在宅推進委員会へ格上げし、防府市高齢福祉課主催の「はあとふるねっと会議」に参加し、他職種の方々との「防薬 “見えるか”プロジェクト」を開催しました。



夏には、恒例の納涼会を開催され、フラダンス、抽選会、ちびっ子との花火など企画しました。他職種の方々、山口支部の方々の参加もあり140名と過去最多数の参加者でした。

10月には、防府三師会主催、健康福祉センター、市保健センター共催の「2013ほうふ健康フォーラム」を開催し、市民460名の参加者がありました。フロアでは、今回も広大薬学部森川教授、助教、学生さん達の応援を頂き、多数の会員の皆様のお陰で、2回目の血液採取による血糖、コレステロール、尿酸値等の検査を実施しました。また、おくすり手帳のPRや健康相談を行いました。ホールでは、寿町薬局の松浦泰子氏が、「お薬手帳の上手な使い方」という演題で講演され、大変好評でした。

11月には、高血圧治療フォーラム in 防府 2013 で、「降圧薬の服薬状況に関するアンケート調査実施に係る取り組みについて」という演題で福田祥子氏が発表され、他職種の方からも大変評価をいただきました。

多職種連携ワークショップを開催し、薬剤師、医師、ケアマネージャー等55名の参加者で活発な意見交換がありました。これから私たち薬剤師は、自分たちが行動に移さなければ、蚊帳の外に置き去りにされてしまいます。「薬剤師になって良かった」と思えるように、薬学6年生が社会に出てきた折に希望が持てるように、今、努力すべきだと思っています。

薬学生実務実習を受けたご縁で、広島国際大学で実務実習生のポスター発表を見学し、また、岡山県の就実大学の企業説明会にも、防府薬剤師会として参加しました。調剤薬局に興味があり、地元で頑張りたい等の声も聴き、心強く思いました。執行部理事の皆様と意見闊達に会を運営させていただいていることは身に余る光栄なことと思います。何はともあれ、まずは会員同士の親睦が第一です。

会が発信した情報を共有して、同じ土俵に上って薬剤師としての力を十分発揮できるよう連携して行きたいと願っております。「仲間意識と絆」を大切に、会員皆様のお力をお借りして、まずは、親睦を楽しみに今年は歩いていく所存です。そして、地域に根差した薬局、薬剤師。薬剤師だからこそできることを目指して、走り出しましょう。

— 気ままトーク —

～20年ぶりのアメリカ～

山口県立総合医療センター 磯部 邦彌

昨年、久しぶりに海外旅行に行ってきました。子供が小さいときは、海外への旅行は躊躇していたのですが、小学校高学年になったので20年前に後輩と行ったアメリカのサンフランシスコとロサンゼルスに行きました。到着早々、20年前のことすっかり忘れていました。7月下旬だったので東京は暑く半袖で飛行機に乗り、到着したサンフランシスコでは気温18℃(寒いのを忘れていました)、一番最初に購入したものが厚手のトレーナーでした。

翌日、ヨセミテ国立公園(写真)に行った帰りの野球場でマリナーズが試合をしていると聞いて行きたかったのですが・・・翌日の新聞の一面にイチローの写真があるではありませんかヤンキースへの移籍！？(見とけばよかった)新聞を見ながら(後悔しながら・・・)ロサンゼルスに到着後、今度はダルビッシュを見に行ってきました。(20年前は日本人の大リーグ選手がいなかったのに・・・)

子供が家内のスマホ(いつも使っているスマホ)を取り出して電話しています(えっ・・・何処

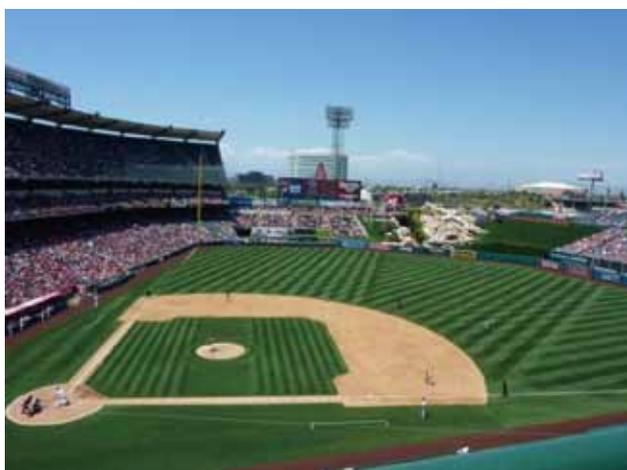
に???)アメリカから日本にスマホで電話出来るんですね(20年前携帯電話があったかな?)

レンタカーでディズニーランド・ハリウッド・サンタモニカと快適にドライブして車を返却するときナビの指示通り走っていたら風景が一変(危険地帯だ!!!)・・・後で現地の日本人に聞いたら銃で撃たれても仕方がない地域だと聞いて背筋が凍るようでした。

怖いこともハプニングも色々な事がありました。が、楽しいアメリカでした。

今年は何処に行こうかな?その前に子供と一緒に行くかな?そんな年頃になった子供と20年ぶりのアメリカ旅行は、行った場所や建物は変わっていませんでしたが、日本にいるときはあたりまえの事が自分の周りの環境の変化をより一層感じる旅行となりました(月日の経つのは早いものですね!20年後どうなってるんだろう?)。

色々な事を考えながら、今年一年目標を持って頑張ります。



— 服薬指導の実例 —

済生堂中央薬局 野口 朝絵

済生堂中央薬局は、防府駅前のイオン防府店の中にあります。母と2人で年中無休で頑張っています。患者様は駅前という事もあって、電車やバスを利用される方、イオンで買い物して帰る方がほとんどです。

OTC薬も取り扱いがあり、店頭では「病院のお薬を飲まれていますか？」と確認して販売しています。血圧の薬、痛み止めなどいろいろ内服されています。そこで、購入される薬と飲み合わせがないかチェックします。多いのが降圧剤服用中で胃薬を購入される方です。出来るだけ炭酸水素ナトリウムが含有されていない胃薬を選択します。「O胃散」「新Kコーワ」以外です。昔からあり、宣伝をしている事もあって併用している方は多いです。

「ナトリウムが含まれているので、血圧が高くなる事がありますよ」と言うと、だいたいの方は違う商品を購入されます。

最近ではグルコサミンを通販や友達からの紹介で購入されている方が増えています。健康食品だから飲み合わせがない、大丈夫と思っている方。特にワルファリン服用者には気をつけるように指導しています。ある健康食品メーカーからグルコサミンを併用する事によりINRが上昇する現象は、併用摂取2日～6カ月の幅で認められているが、グルコサミン摂取中止によりINRが正常レベルに回復したという報告がありました。

まさか健康食品が薬と飲み合わせがあると思う方は少ないと思います。

患者様に聞いてみると何種類も健康食品を飲んでいる方がいてビックリします。それだけ健康で長生きしたいと思っているのですね。

今後も、患者様が自立した生活が送れるようにお手伝いをしていきたいです。

～おめでとうございます～

福田淳子会長が薬事功労者知事表彰を

山田克弘副会長が九州山口薬学大会会長表彰を

受賞されました。

— 職場紹介 —

いちのみや薬局防府店

荒瀬 峰春

皆さんこんにちは。いちのみや薬局防府店の荒瀬です。

何年か前にも掲載させて頂いたことがあるのですが、随分昔になりますので改めてもう一度紹介させていただきます。

いちのみや薬局防府店は防府に4店舗ある「いちのみや薬局グループ」の一つです。平成9年5月にオープンし、気がつけば16年目になります……。年をとるわけですね(笑)。現在のスタッフは私と嫁の薬剤師2名と事務3名の計5名です。夫婦で勤務の為、事務の方々は働きにくい面々もあるでしょうが、この場を借りてご勘弁を!!

主な処方元は防府整形リウマチクリニックになります。リウマチの患者さんの薬は

皆さんご存知のようにリウマトレックス、プログラフ、生物学的製剤など非常に高額なものが多く一月に〇万円と支払われる方も少なくありません。お薬代の不満をいかに和らげるか……。誠心誠意、心を込めての対応でせめて心の痛み?を少しでも解消できればと努めております。

薬局内は雑貨の販売をはじめ、癒しをテーマに水槽に熱帯魚、待ち時間を利用しての血圧測定とフットマッサージと「お・も・て・な・し」の気持ちを形に表現しています。

どなたでも来局しやすい暖かい雰囲気大切にしながら地域に密着した親しみ易い薬局を目指してスタッフ一同頑張りますので、よろしくお願ひします。



— こんにちは和 —

シメイ フジヤマ
氏名:藤山 ちひろ

血液型:O 型

出身大学:徳島文理大学
(平成 18 年度卒)

勤め先:防府リハビリテーション病院

趣味:バドミントン

好きな言葉:一期一会

ひとこと:

生まれも育ちも徳山ですが、この度、結婚を機に夫の故郷である防府に移り住みました。これからどうぞよろしくお願いいたします。



シメイ マサゴ トモエ
氏名:真砂 友恵

血液型:A 型

出身大学:福山大学
(平成 24 年度卒)

勤め先:新しくわのやま薬局

趣味:合唱

好きな言葉:自由、笑顔

ひとこと:

明るく元気に、前向きに日々の業務をこなしていきたいと思います。



シメイ ヒガ ケイチロウ
氏名:比嘉 圭一郎

血液型:B 型

出身大学:第一薬科大学
(平成 21 年度卒)

勤め先:フタミ薬局防府店

趣味:お酒

好きな言葉:連休

ひとこと:

山口県に来て、あっという間に半年経ちました。よろしくお願いいたします。



シメイ ミホリ シロウ
氏名:三堀 史郎

血液型:AB 型

出身大学:第一薬科大学
(昭和 63 年度卒)

勤め先:防府リハビリテーション病院

趣味:映画鑑賞

好きな言葉:一期一会

ひとこと:

これからも、会のために頑張りますので、よろしくお願いいたします。



— 会員の動き —

◇入会◇

河内 昌樹 そうごう薬局三田尻店
河野 真美 そうごう薬局三田尻店
岡原 光孝 そうごう薬局三田尻店
大中 美帆 そうごう薬局三田尻店
白石 優里子 そうごう薬局三田尻店
舟谷 まや 無所属
江波 礼子 山口博愛病院

◇退会◇

森本 匡豊 いちのみや薬局植松店
中山 紀代子 めばえ薬局田島店

◇変更◇

柳 稔尚 新しくわのやま薬局
→いちのみや薬局植松店
佐藤 栄一 そうごう薬局三田尻店A→B
松井 都世子 あい薬局→無所属
宇根崎 昌子 あい薬局→無所属
中村 美都子 防府リハビリテーション病院→無所属

－ 生涯教育 －

○ 9月12日（木）出席者数：20名

防府医療圏生涯学習研修会

JPALSコード「35-2013-0086-101」

「新しい骨粗鬆症治療薬プラリア皮下注60mgシリンジの適正使用について」

第一三共株式会社 渡辺 雄介 先生

「ニューキノロン抗菌薬グレースビット錠50mgについて」

第一三共株式会社 千葉 優太 先生

○ 9月26日（木）出席者数：18名

防府医療圏生涯学習研修会

JPALSコード「35-2013-0092-101」

「モーラスパップ・モーラステープの効果的な貼り方」

「経皮吸収型過活動膀胱治療剤ネオキシテープについて」

「経皮吸収型持続性疼痛治療剤ノルspanテープについて」

久光製薬株式会社 木村 健 先生

○ 9月27日（金）出席者数：53名（内薬剤師数：29名）

防府医師会共催学術講演会

JPALSコード「35-2013-0087-101」

「シムビコートタービュヘイラーについて」

アストラゼネカ株式会社

「患者様の失敗から学ぶ喘息治療」

島根県立中央病院 呼吸器科部長（島根大学医学部 臨床教授）久良木 隆繁 先生

○ 10月10日（木）出席者数：11名

操薬とーく in 防府

JPALSコード「35-2013-0109-101」

「薬剤経済学 part 1」

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 森川 則文 先生

○ 10月16日（水）出席者数：37名（内薬剤師数：18名）

第11回防府市 呼吸と心臓を勉強する会

JPALSコード「35-2013-0110-101」

「レザルタス配合錠に関する情報提供」

第一三共株式会社

「症例検討」 山口県立総合医療センター 研修医 篠原 孝宏先生からの症例提示

「明日からの診療に役立つ高血圧の話題」

医療法人実昌会中司内科 院長 中司 昌美 先生

「心腎保護と長期予後を考慮した急性心不全治療」

国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 部長 安斉 俊久 先生

- 10月25日(金) 出席者数:55名(内薬剤師数:35名) 防府医師会共催学術講演会
 JPALS コード「35-2013-0111-101」
 「テネリアについての情報提供」 第一三共株式会社
 「2型糖尿病のメリハリある治療ストラテジーを考える！」
 東邦大学医学部内科学講座
 糖尿病・代謝・内分泌学分野 教授 弘世 貴久 先生
- 10月31日(木) 出席者数:8名 防府医療圏生涯学習研修会
 JPALS コード「35-2013-0112-101」
 「外来における脳梗塞再発予防の服薬指導」
 沢井製薬株式会社 広島支店 営業学術 岡田 民生 先生
- 11月14日(木) 出席者数:22名 防府医療圏生涯学習研修会
 JPALS コード「35-2013-0124-101」
 「エスタブリッシュ医薬品について」 ファイザー株式会社
 「リウマチ治療薬 最近の話題」
 山口県立総合医療センター 整形外科 診療部長 田中 浩 先生
- 11月29日(金) 出席者数:64名(内薬剤師数:32名) 防府医師会共催学術講演会
 JPALS コード「35-2013-0125-101」
 「リカルボン錠についての情報提供」 小野薬品工業株式会社
 「骨粗鬆症患者に対するの当科の取り組みとFRAXの解析」
 山口県立総合医療センター 整形外科 赤川 誠 先生
 「骨粗鬆症治療薬の使い分けー拡がる選択肢ー」
 沖本クリニック 院長 沖本 信和 先生

— 定例理事会報告 —

平成25年度 第6回 定例理事会
 開催日時:平成25年(2013)9月5日(木)19:30~23:00
 出席:福田、山田、木村、三堀、白野、原田、椎木、吉岡、竹光、舟谷、越智、山内各理事、松村監事
 オブザーバー:権代
 議題
 [協議事項]1.会議の活性化について考える(福田会長):富士ゼロックスより、会社の方針からファシリテーターとしての会議の役割などをお話してもらった。費用は、一年間は無償である。協議の結果、委員会レベルでファシリテーターを活用。そして若い多くの委員にファシリテート技術を習得してもらおう。

2.納涼会の成果と反省について(竹光理事):8月3日(土)18時~21時。参加者は年々増加で今年は142名参加。規模については、当面今年くらいの規模で継続する。
 3.丸山薬学大会における広報委員会の発表について(白野理事):佐藤洋平先生がホームページに関してポスター発表をする予定。発表者(佐藤先生)のみ出張旅費を会が負担するという事で承認された。
 4.薬と健康の週間(10月17日~23日)行事について(三堀副会長):ほうふ健康フォーラムを10月13日(日)アスピラートにて開催。体験コーナーでは、今回は指先採血生化学検査を行う。・検査時間をきちんと決める。講演中は検査を行わない。・80人分くらいが妥当

という意見で一致。

5.おくすり手帳について:前回の理事会での協議も踏まえ、多機能手帳・カバーの検討や、安価な県薬手帳への転用充実も視野に、更なる手帳の利用拡大を図ることを検討。・独自のおくすり手帳を作成しているのは、現在防府支部のみ。県薬が嫌がるのでは。・防府版はおぼえ書き欄が書きやすい。また、防府版が高いといってもページ数が約2倍多い、その分、手帳更新時のおぼえ書きを書く頻度が減る。・防府版は高いといっても使用量は横ばいでペースは落ちていない。いつかははけるのでまだあわてなくても良いのでは。・他の印刷会社と競合させ、価格を下げる努力も必要。今回の理事会でも、いろいろな意見が出た、結論は出ず。

6.会営薬局における薬学生実務実習受け入れについて:他にも新くわのやま薬局等で実習生を受け入れる。

7.義援金募金について:7月28日の大雨による被害のお見舞いと激励を目的。9月10日締め切り。

8.防府三師会親睦ゴルフ大会参加について:11月10日(日)宇部北コースにて。今回の幹事は歯科医師会。椎木康先生を中心に参加者を募る。

【報告・連絡事項】1.丸山薬学大会において、山田副会長が丸山薬学大会会長表彰を受賞。

2.無菌室設置補助金申請は目下審理中。9月上旬頃決まる予定。

3.会営国分寺薬局の在庫が増加気味。適正在庫に務めること。

4.学校プールの水質検査が終了。大きなトラブルもなく、円滑に検査が実行できた。

【関連事業・その他】

①県薬関係:地域職域薬剤師会協議会報告(福田会長):・過少に算定していた介護報酬の回収のため、市の高齢障害課の職員が個別に訪問し、回収中。・ケアマネージャーだけでなく新聞配達員など周りの人の協力を得ながら気づきを報告し合えるコミュニティが出来たら良い。などが協議された。

理事会・医療安全委員会報告(山田理事):薬剤師行動宣言に基づき、疑義照会や後発品変更など、意欲的に行動することがこれから必要。

保険薬局支部委員会報告(舟谷地域委員):薬剤師行動宣言がやはり重要。

②会営薬局 月度業績報告(仕入れ、売上、在庫、特記その他)(吉岡理事):10月2、3日、国府中職場体験実習を受け入れる。

委員会活動

①保険薬局委員会(木村委員長):9月10日の協議会では、「食物アレルギーとエビペン」「県警による爆発物対策」の講演予定。

②広報委員会(白野委員長):在宅委員会の報告書をホームページに掲載する。また、ほうふ健康フォーラムについても掲載する。

③学校薬剤師委員会(山内委員長):プール水質検査第3回目が終了し、今年の検査は無事終了。

④在宅医療推進委員会:山口県託老所GH協会ブロック別研修会を8月22日に開催した。報告書は防薬ホームページに掲載する予定。

⑤その他小委員会・チーム:親睦小委員会(竹光委員長):山口市薬と交流イベントを考案中。休日診療所チーム(椎木担当理事):お盆は落ち着いていた。10月から祝日の月曜日は2人体制。

その他

・在宅一包化BOXについて(竹光理事):上手にふたが閉まるよう、舟谷理事等と試行錯誤しながらほぼ形は完成。1ヶの値段は発注個数に左右されるが150円～250円。2000ヶ発注したら、価格は1ヶ200円くらいになる。

・降圧薬の服薬状況に関するアンケート調査について11月19日に「高血圧治療フォーラム in 防府2013」が開催される。それにさきがけ、アンケートをメーカーから依頼され、実行チームを結成し、アンケートを作成した。防府医師会の協力も得た。

平成25年度 第7回 定例理事会

開催日時:平成25年(2013)10月3日(木)19:30～22:00

出席:福田、山田、木村、三堀、原田、椎木、吉岡、竹光、舟谷、越智、山内各理事、松村監事

オブザーバー:権代

議題

【協議事項】1.山口県薬剤師会フォーラムについて(福田会長):福田太郎県薬理事(地域責任者)により、開催内容を説明(黒田一幸先生(地域担当者)も同席)。理事全員に参加要請。

2.資産保全管理について(福田会長):「保険の仕組みと資産の活用」をテーマにプレデンシャル生命保険山口支社より説明。

3.「山口元気フェア」の委員推薦について(福田会長):県主催。11月4日に開催。県薬が地域薬剤師会と共催して、展示・体験コーナー等の出展を行う。地区の窓口委員を選出(防府ブロックで1名)。山内理事が選出・承認された。

4.薬と健康の週間(10月17日～23日)行事について(三堀副会長):・ほうふ健康フォーラムを10月13日(日)アスピラートにて開催。体験コーナーでは、指先採血生化学検査を行う。(広大応援あり)お薬手帳のブースも作る。・「街頭でのチラシ、サービス品の配布について」10月19日(土)11時～12時ルルサス広島

銀行前にて、県商組が薬局店頭での正しい薬の販売チラシの掲示と街頭での啓蒙活動を行う。小西堂薬局の河野先生が中心に活動。

5.降圧薬の服薬状況に関するアンケート調査について(福田会長):参加薬局 30。実施期間 10月7日～26日。実施に当たってのお願いと調査用紙は10月2～3日に配布。

6.「卓上おくすり管理箱」の進捗状況について(竹光理事):サンプルはほぼ完成。前回の理事会で決定したように2000ヶ発注し、値段は1ヶ 200円とする。各薬局と異業種交流会時、各施設に適量配布する予定。利用方法は小分け用のビニール袋があった方が便利のため、それも用意する。数は理事会で検討した結果、管理箱1ヶにつき4枚用意する。

7.若手フォーラム参加要請について(吉岡理事)11月9日～10日、防長苑にて開催。支部から理事を中心に10名程度参加要請あり。理事からは吉岡理事と山内理事が参加予定。他は若手会員を中心に声をかける。

8.薬学生獲得に向けて(福田会長):大学の企業向け就職説明会(12月1日、就実大学)。誠英高校訪問(10月8日、福田会長・山田副会長)。

[報告・連絡事項]1.無菌室設置補助金申請の件は、残念ながら落選した。

2.大雨義援金の募金は支部総額 189000円。とても多額集まった。

3.防府三師会親睦ゴルフ大会(11月10日)。

4.日薬ブロック会議が来年1月18日(土)広島にて開催。福田会長が出席予定。

5.ダメ・ゼッタイ募金を10月1日～4日回収

【関連事業・その他】

①県薬関係:理事会・医療安全委員会報告(山田理事):自由民主党山口県連政経セミナーや若手フォーラム、ボーリング大会等10月、11月も様々な事業があり。

保険薬局部会支部委員会報告(舟谷地域委員):OTCの覆面調査が本年度もある。改善ポイント(5点)をしっかりと改善すること。

②会営薬局関係(吉岡理事):10月2、3日、国府中職場体験実習(5名)を受け入れる。

委員会活動

①生涯学習委員会(三堀委員長):10月の生涯学習研修会予定表を各薬局にFAX通知した。

②広報委員会:九山薬学大会でホームページリニューアルについて発表した。

③学校薬剤師委員会(山内委員長):防府市学校保健大会が10月3日開催。今回は歯科医師の先生が講演。来年は薬剤師の番なので早めに担当者を決める。

④在宅医療推進委員会(越智委員長):いちはなで11月15日(金)、異業種交流会を開催予定。

⑤その他小委員会・チーム:親睦小委員会(竹光委員長):県薬ボーリング大会が11月10日開催。支部対抗戦。

休日診療所チーム(椎木担当理事):劇薬の区別ができていなかったため、劇薬棚を設置。棚卸しも行い、ほぼ例年通りの在庫金額だった。

その他

新年会について(竹光理事):医師会、互礼会等のスケジュールを考慮し、防府薬剤師会の新年会は1月9日(木)グランドホテルを予定。催しは、越智理事、吉岡理事に依頼。

平成25年度 第8回 定例理事会

開催日時:平成25年(2013)11月25日(月)19:30～22:00

出席:福田、山田、木村、三堀、白野、原田、椎木、吉岡、竹光、舟谷、越智、山内各理事、松村監事
オブザーバー:権代

議題

[協議事項]1.山口県薬剤師会フォーラムについて(山田副会長):12月7日、8日開催。理事全員の参加を再度要請。

2.山口県薬剤師会若手フォーラムの報告(吉岡理事):11月9日、10日開催。防府からは6名が参加。若手薬剤師なのか地域役員薬剤師の集まりなのか、しっかりと意思統一・目的があいまいだったとの指摘あり。

3.「山口元気フェア」の報告(山内理事):11月4日に開催。山内理事が出席(防府ブロック選出委員)。県薬が地域薬剤師会と共催して、展示・体験コーナー等の出展を行い、今年は山口市で開催された。来年以降、どこで開催されるかまだ未定だが、防府で開催される場合は今回の山口市薬の活動を参考にする。

4.「ほうふ健康フォーラム」の報告(三堀副会長):10月13日(日)アスピラートにて開催。参加者460名。

5.降圧薬の服薬状況に関するアンケート調査について(福田会長):参加薬局 30。実施期間 10月7日～26日。11月19日アンケート結果を福田祥子先生が発表。医師等からの評判も良かった。来年5月高血圧の学会でも発表を予定。

6.「卓上おくすり管理箱」の活用について(竹光理事):竹光理事、すでに数十個販売。松村Drも20ヶ購入。

7.異業種交流会の報告(越智理事):11月15日、「いちはな」にて開催。115名参加となり、店に入りきれないほど多人数で盛況であった。歯科医師の深野先生や右田先生も参加。

8.多職種連携ワークショップ開催について(越智理

事):11月26日(火)19時30分～トレポーノにて開催予定。50名程参加予定で、1グループ5～6人が理想だが、7人くらいになりそう。薬剤師は14名、包括から4名、医師は5名(周防、原、木村皇、山縣、松村各先生)参加予定。司会はファシリテーターのプロの吉岡理事の奥様に依頼し、吉岡理事と一緒に司会を務めてもらう。

9.糖尿病教室開催について(竹光理事):11月25日(月)14時～15時桑陽病院にて開催。

10.新年会企画案について(竹光理事):吉岡理事・越智理事を中心に、演奏を予定。抽選会も行う。予算は7万円。

11.冬の親睦行事案について(竹光理事):スキー泊2日旅行を企画。ただ、予算20～30万では難しい。参加費を多く設定するだけでなく、会からももう少し補助してもらえると助かる。ツアー内容をもう少し検討してみる。

12.九山でのポスター発表の報告について(広報委員会):9月15日～16日佐藤洋先生が「ホームページのリニューアル」について発表。リニューアル後、1日平均60人くらいのアクセスがあるが、最近はどんどん増え、10月は1日平均100人くらいになった。

13.薬学生獲得に向けて(福田会長)大学の企業向け就職説明会に訪問予定(11月30日、広島国際大学、12月1日、就実大学)。福田会長・山田副会長・吉岡理事・福田太郎先生がのぼりやはっぴを用意して防府薬剤師会をアピールする予定。

14.国分寺薬局の現状について:薬学生実務実習終了(11月15日)。備蓄業務増大化・薬剤師退職・施設配達・在宅展開等、業務の見直しが必要。1月からパートの採用など、薬剤師確保も急務。

15.在宅医療推進・地域リーダー人材育成事業:防府市地域包括支援センター3名推薦。椎木薬局椎木ひとみ先生、そうごう薬局岡原先生、いくも薬局福田祥子先生を推薦。

[報告・連絡事項]

1.日薬中国ブロック会議が来年1月18日(土)広島にて開催。福田会長が出席予定。

2.防府三師会親睦ゴルフ大会が11月10日に開催。優勝は医師会吉田義夫先生。次回は防薬が幹事。椎木理事と松村監事が中心に計画。次回は、11月9日(日)を予定。

3.防薬おくすり手帳印刷中。表紙の名前記入欄の加工を修整することにより、1冊25円から20円に安く出

来た。

4.日薬臨時総会提出質問事項。あれば早めに連絡。

5.調剤過誤報告。(クラビット250mgと500mgの規格間違い)

6.年末年始休み調査。12月上旬、各薬局にFAX。

7.その他「針等の医療用廃棄物の方法について」会営国分寺薬局が各薬局まとめて扱って良いのか。それとも各薬局がきちんとメスキュードを用意するべきなのか。本来は点数をとっている医療機関元へ返却し、処分してもらうのが原則で一致。

【関連事業・その他】

県薬関係:理事会・医療安全委員会報告(山田理事):応能会費の見直しあり。処方せん一枚につき5円で、10年前に上限を1500枚として現在に至るが、他県に比べて低い水準であり、資金が不足してきたため、来年度から1500枚以上は一枚につき1円徴収する予定。

保険薬局部会支部委員会報告(舟谷地域委員):厚労省の指導あり。一包化の必要性、おくすり手帳の見開き、指導の目的4つのポイントをしっかり遵守すること。

委員会活動

①保険薬局委員会(木村委員長):12月の協議会はヴェオリブス錠(グラクソ)について講演を予定。

②生涯学習委員会(三堀委員長):12月の生涯学習研修会予定表を各薬局にFAX通知した。12月12日(木)操薬トーク終了後、「いとう」にて森川先生を囲む会を行う予定。

③広報委員会(白野委員長):清流117号を1月発行予定。

④学校薬剤師委員会(山内委員長):フードスタンプ検査実施中。

⑤在宅医療推進委員会(越智委員長):11月26日のワークショップに向けて準備中。医療センターとの在宅書類の取り決めを検討中。

⑥その他小委員会・チーム

親睦小委員会(竹光委員長):冬の親睦行事企画
休日診療所チーム(椎木担当理事):1月5日も二人体制に。

⑦総務委員会

理事会忘年会を12月14日(土)ラパンナにて開催。1月の理事会は1月15日(水)

新年会は1月9日(木)

—「遺伝子の時代を生きる - 遺伝子診断から予防医療へ—」—

佐波薬局 牧野 泰孝



医療に関わる遺伝子についてお話したいと思います。あすの服薬指導にすぐに役立つ分けではありませんが、気分転換という事でお付き合い頂けたらと思います。

これまで遺伝子という言葉は分子生物学や分子医学等の専門分野で使われてきましたが、最近では日常生活の中でも耳にします。昨年5月、女優アンジェリーナ・ジョリーさん(37)が、BRCA1という遺伝子に異常があり、乳がん予防のために両乳房を切除手術したことをニューヨーク・タイムズ紙で告白しました。実はこのBRCA1遺伝子は1994年(ちょうど20年前ですね)に米国ユタ大学のグループが乳がんの原因遺伝子として報告したものです¹⁾。この遺伝子に変異があるとDNAの修復がうまく行えず²⁾、乳がんや卵巣がんが発生するという大変有名な遺伝子で、かつ本論文の筆頭著者が日本人であったため国内でも話題になりました。ただ当時は「BRCA1に異常が見つかって治療法がない・・・その後どうするの？」などの否定的な意見が多かったと思います。その後、米国で研究が進展、BRCA変異に関する疫学的なデータも蓄積し、病気の罹りやすさを数字(アンジーの場合、乳がんのリスクが87%、卵巣がんが50%)で表せるようになりました。遺伝子診断から予防医療への発展により、BRCA1の異常に対して予防的乳房切除という選択が可能となったわけです。10年以上前から日本でも同様の遺伝子診断が可能になったのですが、我が国ではi) 疾患リスクがあるからといって予防的に乳房切除するという医療習慣に馴染みがない、ii) 遺伝子解析の結果を患者に伝える遺伝子カウンセリングの人材やインフラが整っていない等の理由で遺伝子検査による予防医療はなかなか受け入れられませんでした。

今回のアンジーの告白は大きなインパクトを世の中に与えました。2013年6月、遺伝子検査サービス会社(ファルコバイオシステムズ、本社・京都市)により関東1都6県でBRCA1の遺伝子診断に関するテレビコマーシャルが放映されたそうです。まだまだ課題はあるでしょうが、今後、遺伝子診断が普及して行くと考えられます。私たちは遺伝子の時代を生きています。

(参考文献と注釈)

- 1) Y Miki, J Swensen, D Shattuck-Eidens, PA Futreal, et al. A strong candidate for the breast and ovarian cancer susceptibility gene BRCA1. *Science* 1994; **266**: 66-71.
- 2) DNAの修復: DNA損傷は1日1細胞当たり50万回程度生じると言われている。その原因は正常な代謝に伴うものと環境要因(変異原性物質、紫外線、放射線等)によるものがある。DNAの修復が追いつかず損傷が蓄積すると細胞ががん化したり、死滅したりする。

ー 山口健康福祉センターからのお知らせ ー

1 取扱処方せん数届書について

薬事法の規定により、薬局開設者は取扱処方せん数届書を提出する必要があります。提出時は、以下に御留意ください。

(1) 提出部数 正・副各1部

(2) 提出期間 平成26年1月1日～平成26年3月31日

(3) 記入上の注意

① 許可年月日は、薬局開設許可証の有効期間の最初の日です。

② 前年において業務を行った期間は、平成25年1月1日～平成25年12月31日の範囲内とし、業務を行った日数も必ず記載してください。

③ 「総取扱処方せん数」= (眼科、耳鼻咽喉科及び歯科の処方せんの数) × 2/3
+ (その他の診療科の処方せんの数)

④ 業務を行った期間が3ヶ月未満又は1日の取扱処方せん枚数が40枚以下の場合にあっても、確認のため届出をお願いします。

2 薬局機能情報報告書について

薬事法の規定により、薬局開設者は当該年度の4月1日現在の薬局機能情報報告書を提出する必要があります。提出時は、以下に御留意ください。

(1) 提出部数 正・副各1部又は電子申請

(2) 提出期間 平成26年4月1日～平成26年4月15日

(3) 記入上の注意

① 以前に報告している内容に変更がない項目は記載不要です。

ただし、届出者の住所・氏名及び薬局の名称・許可番号は必ず記載してください。

② 電子申請を行う場合でも、届出者は許可証記載の薬局開設者です。

(実際にコンピュータを入力した担当者ではありません。)

・山口県電子申請 web ページ

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a12600/den-shinse/denshisinsei.html>

・薬局機能情報提供制度説明 web ページ

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15400/yakuza/kinojoho1.html>

3 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業平成24年年報について

このことについて、公益財団法人日本医療機能評価機構から通知がありましたので、お知らせします。なお、当該報告書は公益財団法人日本医療機能評価機構のホームページ (<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>) に掲載されていますので、医療事故防止、医療安全推進のために御活用ください。

－ 防府薬剤師会ゴルフコンペ報告 －

山口県立総合医療センター 三好 生典

10月20日、泉水原ゴルフクラブで今年も防府薬剤師会ゴルフコンペが行われました。17名の参加で終始和気あいあいとラウンドができ、ハンデにも恵まれ、優勝と次回幹事の榮譽を受け取りました。初心者の方もこれから1年練習して、来年度はぜひ一緒にラウンドしましょう。

優勝 三好 生典(山口県立総合医療センター) グロス 87、ネット 72.6

2位 椎木 康之(防府栄町薬局)

3位 境 亮一(エバルス)

－ 第12回防府三師会ゴルフコンペ報告 －

防府栄町薬局 椎木 康之

第12回防府三師会ゴルフコンペが、2013年11月10日(日)、宇部72カントリークラブ阿知須コースで開催されました。参加者は、医師会8名、歯科医師会7名、薬剤師会7名の総勢22名でした。当日はあいにくの雨模様でしたが、予想されたほどの荒天にはならず、みなさん楽しく親睦を深めることができましたようです。優勝は、医師会の吉田義夫先生で、我が薬剤師会は紅一点の桑陽病院の青木典子先生がOUT48,IN46,グロス94というスコアで栄えある三位入賞を果たされました。来年は薬剤師会が幹事です。みなさんの奮っての御参加をお待ちしております。



－ 防府健康フォーラム2013 －

生涯学習委員会 三堀 史郎

今回で8回目になる防府健康フォーラムを平成25年10月13日(日)に開催し、関係者を含み、460名の参加者がありました。

今回のタイトルは、市民健康公開講座 2013 ほうふ 健康フォーラム「太っていたらがんになる!？」～肥満とがんとの関係～と題して「肥満とがんとの関係」を取り上げました。

講演の始まるまでの間、医師・歯科医師・薬剤師による健康相談、体験コーナーでは、今年も広島大学薬学部臨床薬物治療学の教授と協力して、薬剤師が血液採取による健康チェックを約100名に行いました。

講演は、まず、防府薬剤師会会長の福田淳子先生の開催の挨拶より始まり、

- 演題1「体の健康はお口から」 三田尻病院 歯科口腔外科部長 岡部 功 先生
演題2「おくすり手帳の上手な利用について」 寿町薬局 薬剤師 松浦 泰子 先生
演題3「肥満症の病態の理解とがんの関係について」

山口大学大学院医学系研究科消化器病態内科学 准教授 寺井 崇二 先生の演題でとても興味深く、特に我々薬剤師会から講演でき、大変意義のある講演になりました。

また、今回は休憩の間には鞠生幼稚園のサークルによるコーラスもあり、大変感動をしました。そして、防府三師会各会長、山口県山口健康福祉センター所長 柳 邦治様が壇上に上がり、防府医師会会長の水津信之先生により共同宣言を行いました。

「共同宣言」

1. 毎日の食事は、腹八分目に
2. 体脂肪を燃やして健康な生活
3. 検診を受けて生活を見直す

会場にいらっしゃる皆様とご唱和していただき、力強い共同宣言となりました。

最後に防府歯科医師会会長の上野純男先生の閉会の挨拶で終了となりました。

アンケートの結果は、138名より回答をもらい、各講演も良かったが、コーラス合唱で感動したという意見もありました。

また、来年度は平成26年10月19日(日)に開催しますので、皆さんご協力をお願いします。



去る10月13日、アスピラートにて、防府三師会主催の「健康フォーラム」が今年も開催されました。

講演が始まる前の1時間、三師会で催し物が開かれるのですが、薬剤師会では昨年引き続き、指先穿刺での血液採取による健康チェックが行われ、私もお手伝いさせていただきました。指先穿刺についてご存知の先生も多いと思いますが…少しだけ説明を。まず測定して頂く方ご自身に器具を使って少しだけ指先に針を刺していただき、そこから採取した血液で血糖値・HbA1c・尿酸値・コレステロール・中性脂肪を測定します。この測定を行うために、今年も広島大学の先生、学生さん方に協力してもらいました。私達薬剤師は測定して頂く方に1対1で対応し、測定方法の説明や血液採取、測定結果をお知らせします。

それぞれの検査毎で血液が必要なため、すべての検査をするにはある程度血液が必要なのですが、なかなか思うように血液量が採取できず…。そのため、来られた方には測定したいものの順番をつけて頂くのですが、せっかく体験して頂くので、できるだけ多くの項目を測定できればと、2人で試行錯誤しながら血液を採取しました。結果は数分でわかるのですが、その間、この健康チェックの感想アンケートに答えてもらいながら、「初めは指に針を刺すからドキドキしたね。」「調剤薬局でもできるの?」といったお声を聞いたり、「この健康チェックをするために今日来たのよ。」という嬉しいお言葉も頂きました。また現在服用されている薬についてのご相談や、高脂血症・糖尿病などの生活習慣病をなぜ気をつけなければいけないのかなど質問にお答えしたりと、様々なお話をしました。

私は去年も参加し、この健康チェックのお手伝いをしたのですが、1年経つと忘れてしまっていることばかりで、戸惑いや不安もありました。周りの薬剤師の先生や広島大学の方に助けをもらいながら、あと測定の順番を待っておられる方々の多さにプレッシャーを感じながら、忙しさに本当にあっという間の1時間でした。

また、この健康フォーラムのお手伝いをすると、普段なかなかお会いする機会の少ない薬剤師の先生方とお話ができたり、新しくお知り合いになることができ、私にとってとても楽しく貴重な時間となりました。

みなさま、お世話になりました。ありがとうございました。



— 新年会のお知らせ —

今年も防府薬剤師会での新年会が行われます。例年通り豪華景品が当たる抽選会の他、防薬バンドによる演奏も催される予定です。奮って参加ください。

日時 1月9日(木) 午後7時～

場所 防府グランドホテル

■編集後記■

みなさん、明けましておめでとうございます。

今年の年末年始は長期休みの方々もいらっしやっただと思いますが、楽しく過ごせたでしょうか？防府天満宮に初詣に参拝された方も多かったと思います。

防府薬剤師会はまずは新年会、そして親睦旅行とイベントが目白押しです。

そして、広報誌「清流」も皆様の協力のもと、更なる充実をはかっていきたいと思ひます。

広報委員会では、一緒に活動を行っていくメンバーを募集しています。「編集の仕事に興味がある方！」「つながりを持ちたい方！」など、動機はなんでも OK です。自薦、他薦を問わずお待ちしております。

それでは、新年良いスタートが切れるように頑張りましょう。

(一社)防府薬剤師会 広報委員会

(白野 陽正、松井 都世子、渡邊 太郎、佐藤 洋平、佐藤 圭二、岩本 尚子)

発行所

〒747-0028 防府市東松崎町4-23

(一社)防府薬剤師会

TEL:0835-38-4360

FAX:0835-38-4371

URL:<http://hoyaku.jp/>

e-mail:info@hoyaku.jp

発行編集人 福田 淳子

印刷所 瞬報社オフリン印刷株式会社

山口市小郡下郷2410

TEL:083-972-5678

無断複写、転載を禁じます。